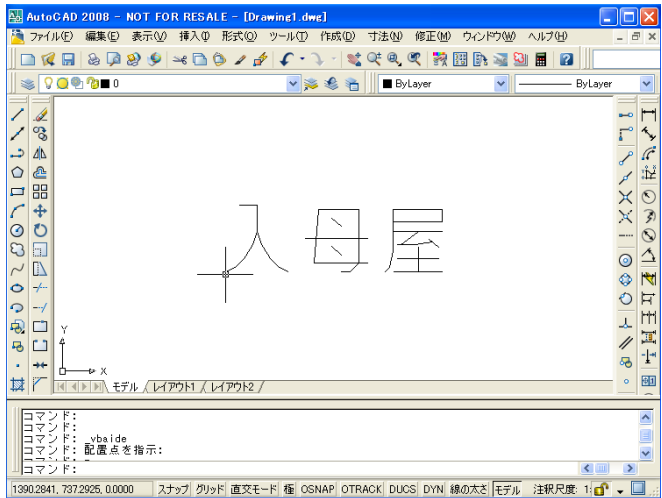
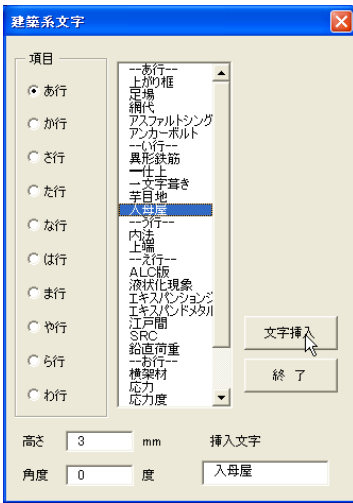


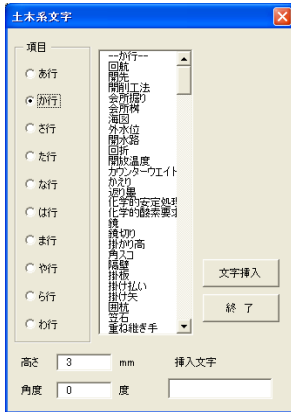
AutoCAD VBA(ActiveX)

- ① 文字挿入 1<insText_1.dvb>、2<insText_2.dvb>、3<insText_3.dvb>、4<insText_4.dvb>
VB (第4章) のプログラム(InsTxt_Archi.exe 等)と同じ機能です。

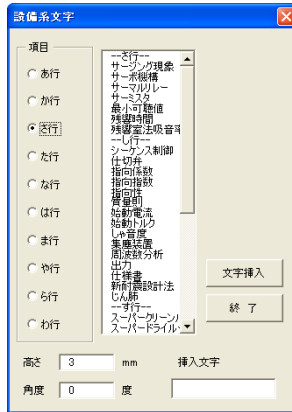
1<insText_1.dvb>



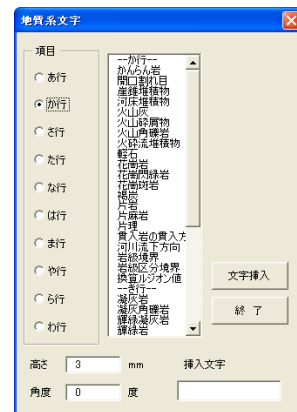
<insText_2.dvb>



<insText_3.dvb>



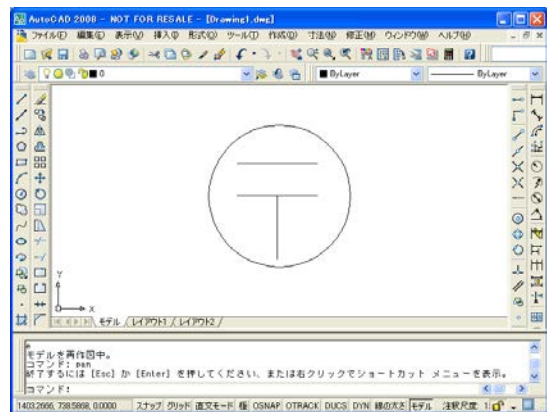
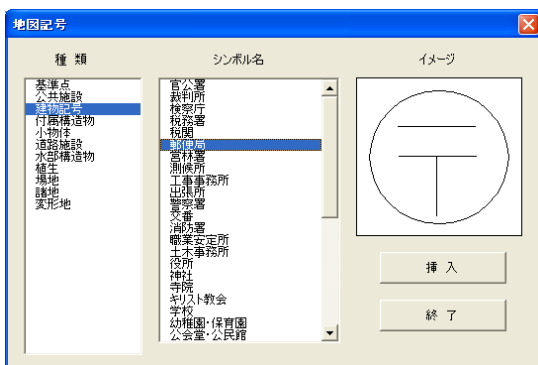
<insText_4.dvb>



- ② 図形挿入 1<symbol_1.dvb>、2<symbol_2.dvb>、3<symbol_3.dvb>、4<symbol_4.dvb>、5<symbol_5.dvb>
VB (第4章) のプログラム(Symbol_1.exe 等)と同じ機能です。

dvb を読み込んだ後、[VisualBasic Editor]から、動作を確認してください。

1<symbol_1.dvb> ここで使用する[C:\¥ACLTDDEV¥CadData]フォルダに AutoCAD のパスを通しておく。



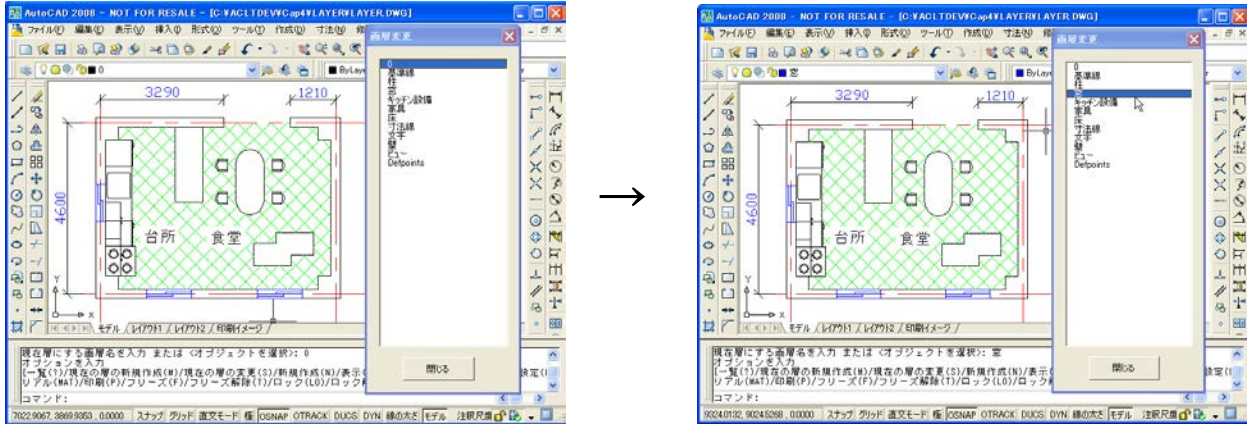
他のプログラム(Symbol_2~Symbol_5)も同様です。

③ レイヤー

1<LayChg.dvb>、2<LayList.dvb>、3<LockGray.dvb>

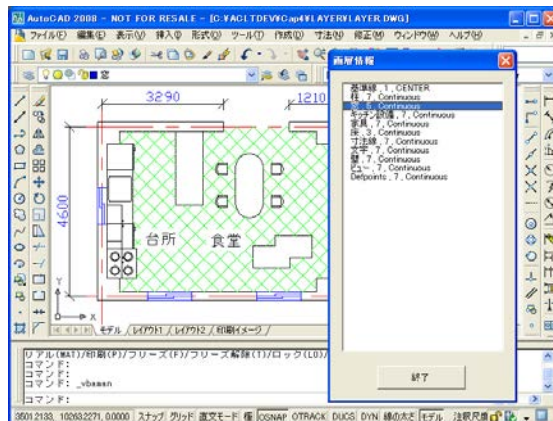
1<LayChg.dvb>

レイヤー変更のフォームを常時表示しておき、レイヤーの変更を AutoCAD からでなく、このフォームから行う。



2<LayList.dvb>

図面の「レイヤー」「色」「線種」の一覧を確認するために表示する機能。



3<ShowList.dvb>

図面の各要素の個数を表示する機能。

